

永田川水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

県単独事業等による河道浚渫等【鹿児島県】

○洪水氾濫対策として、永田川水系において土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じるおそれのある箇所について、河道掘削等を実施する。

河道掘削状況



河道掘削等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削等	鹿児島県			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

準用河川等の河道浚渫等【鹿児島市】

○水害リスクの低減を図るため、準用河川及び普通河川の河道浚渫等を実施する。



河道浚渫イメージ図



河道浚渫前



河道浚渫後

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	準用河川等の河道浚渫等	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進【鹿児島県・鹿児島市】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全

○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県・鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備・保全，治山施設整備の取組【鹿児島県・鹿児島市 等】

- 人工造林（再造林）などの森林整備を行い，保水機能の維持を通じて，土砂や流木等の流出抑制を図る。
- 治山施設の整備による森林の復旧を行い，下流への土砂流出抑制を図る。

【森林整備イメージ】

人工造林（再造林）



間伐

整備前



整備後



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・森林整備による流出抑制対策
- ・治山施設整備による土砂流出抑制対策



治山施設整備<県>

【治山施設整備イメージ】

豪雨等に伴う山地災害



治山施設の整備（溪間工・山腹工）



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全 治山施設の整備	森林整備・保全による流出抑制対策	県・市・森林組合 等			
		治山施設整備による土砂流出抑制対策	鹿児島県			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

調整池等の改良等【鹿児島市】

- 気候変動による水害リスクの増大に備えるため、宅地造成等により帰属を受けた調整池、沈砂池及び遊水池について現況調査等を行い、貯水容量の増強が見込める箇所の改良を実施
- 現況調査結果やその後の点検等に基づき、修繕等の老朽化対策や維持管理を実施

■永田川水系の調整池等

番号	名称	帰属	増強見込	改良年度
1	星ヶ峯みなみ調整池2号	H16	○	H30
2	星ヶ峯団地調整池	H4	○	H28
3	桜ヶ丘団地北部2号調整池	S48	○	H29
4	皇徳寺団地第一調整池	S61	○	
5	星ヶ峯みなみ調整池1号	H16	○	H30
6	中山団地1号調整池	H2	○	R1
7	星ヶ峯団地(9工区)沈砂池	H4	○	R1
8	平馬場2号調整池	H8	○	R1
9	星ヶ峯みなみ台3号調整池	H16	○	
10	白石岡調整池	H11	○	
11	中山団地2号調整池	H2	○	
12	平馬場1号調整池	H8	○	
13	皇徳寺団地第四調整池	H2	○	

番号	名称	帰属	増強見込	改良年度
14	東皇徳寺調整池	H19	○	
15	星ヶ峯団地2号沈砂池	H4		
16	春山台調整池	H17		
17	大豆腐調整池	H8		
18	皇徳寺団地第三調整池	S63		
19	谷山御所霊園調整池	H16		
20	皇徳寺団地第二調整池	S63		
21	中山団地3号調整池	H3		
22	南皇徳寺台調整池	H14		
23	御所の杜調整池	H19		
24	フォレストガーデン中山町	H25		
25	南クララ調整池	H29		
26	青木団地調整池	H30		

※「増強見込：あり」はH24からR2に実施した現況調査結果による

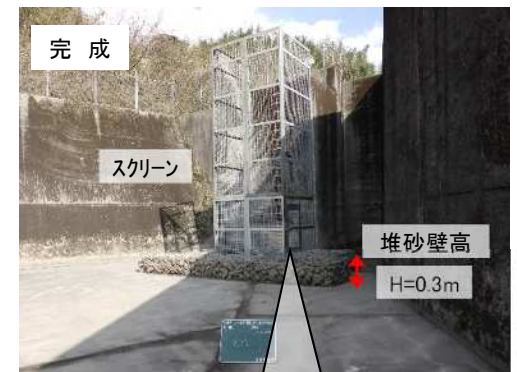
※改良済の調整池も含め老朽化対策等を実施

【調整池改良の考え方】

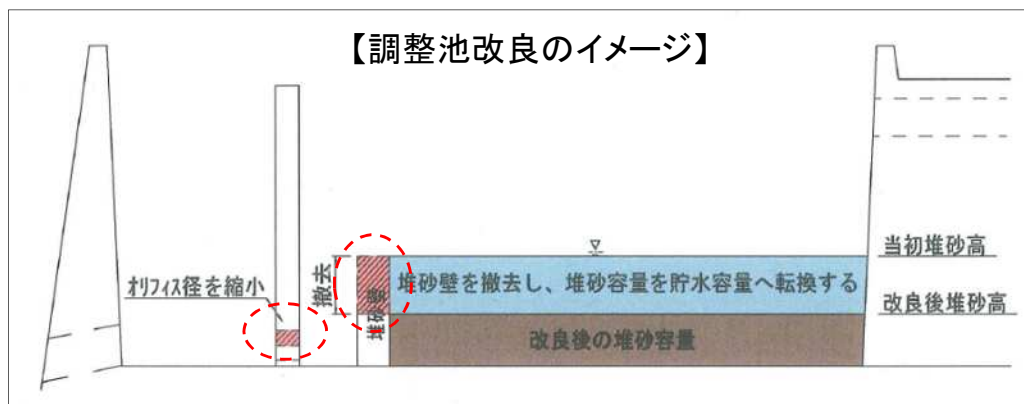
団地等の調整池は、一般的に、造成中に流出する土砂量を考慮した堆砂容量を確保している。

造成完了後は、アスファルト舗装や住宅建築に伴い、土砂の流出量が減少することから、堆砂容量の一部を貯水容量に転換し、増加した容量に合わせてオリフィス(放流孔)の径を縮小し、河川等への放流量をさらに抑制する。

【調整池の改良事例】



【調整池改良のイメージ】



【オリフィス径の改良イメージ】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上・維持	調整池等の改良等	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

雨水ポンプ場等の維持管理【鹿児島市】

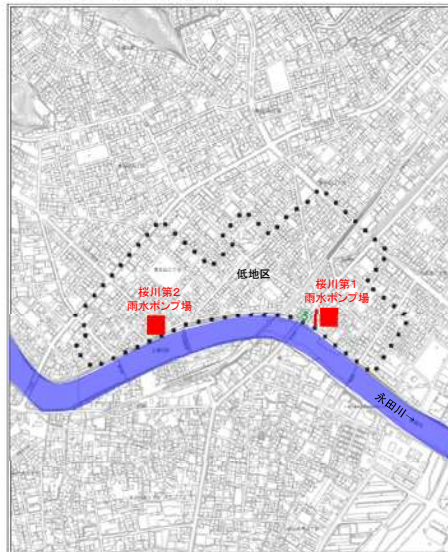
- 低地区総合浸水対策緊急事業により整備した雨水ポンプ場等の維持管理を実施
- 施設老朽化等に対応した対策の実施

低地区総合浸水対策緊急事業

桜川地区

桜川地区では、平成16年および平成17年に道路冠水等の浸水被害が発生しました。

この浸水被害は、大型台風により潮位が通常より上昇し、さらに降雨が重なったことにより発生したものであり、通常の下水道整備では浸水解消が困難であるため、住民の皆様の土のうの活用や避難活動等の自助活動を伴う『低地区総合浸水対策緊急事業』による集中的な整備を行っています。



・整備済みの主な対策施設

- ① 桜川第1雨水ポンプ場
清見橋左岸の下流付近にポンプ場を整備しました。
能力:0.1m³/秒×2台



- ② 桜川第2雨水ポンプ場
永田管理橋左岸の上流付近にポンプ場を整備します。(H23年度整備予定)
能力:0.1m³/秒×2台

- ③ 桜川水路の改築
上流部からの雨水が噴出するため、水路の一部を密閉化しました。

谷山地区

谷山地区では、平成16年および平成17年に低地区において度重なる浸水被害が発生しました。

この浸水被害は、大型台風により潮位が通常より上昇し、さらに降雨が重なったことにより発生したものであり、通常の下水道整備では浸水解消が困難であるため、住民の皆様の土のうの活用や避難活動等の自助活動を伴う『低地区総合浸水対策緊急事業』による集中的な整備を行っています。



・整備済みの主な対策施設

- ① 東塩屋第2雨水ポンプ場
港緑地公園付近にポンプ場を整備しました。
能力:0.5m³/秒×2台

- ② 東塩屋第3雨水ポンプ場
松林寺橋左岸の上流付近にポンプ場を整備しました。
能力:0.005m³/秒×2台

- ③ 東塩屋第4雨水ポンプ場
潮見橋左岸の上流付近にポンプ場を整備しました。
能力:0.05m³/秒×2台

- ④ 西塩屋第2雨水ポンプ場
木之下橋左岸の下流付近にポンプ場を整備しました。
能力:0.05m³/秒×2台

- ⑤ 東清見第2雨水ポンプ場
東清見第1雨水ポンプ場付近にポンプ場を整備しました。
能力:0.1m³/秒×1台

- ⑥ 東清見第3雨水ポンプ場
鹿児島情報高校内にポンプ場を整備しました。
能力:0.3m³/秒×2台

- ⑦ 東塩屋第2雨水ポンプ場への流入水路の整備等を行いました。
延長:240m

・別事業で整備した施設

- A 東塩屋第1雨水ポンプ場
平成10年に整備されたポンプ場です。
能力:0.725m³/秒×2台

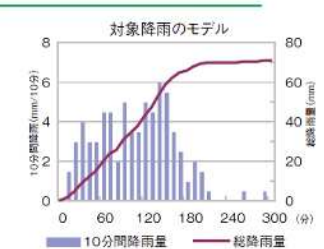
- B 西塩屋第1雨水ポンプ場
平成16年に整備されたポンプ場です。
能力:0.405m³/秒×2台

- C 東清見第1雨水ポンプ場
平成14年に整備されたポンプ場です。
能力:0.1m³/秒×2台

○計画諸元

総合浸水対策緊急事業は、『平成17年9月6日』の台風14号による被害時降雨をもとに計画されています。

1時間最大雨量 28mm
10分最大雨量 6mm
降雨継続時間 5時間
計画外水位 TP+2.47m



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	雨水ポンプ場等の維持管理	鹿児島市			

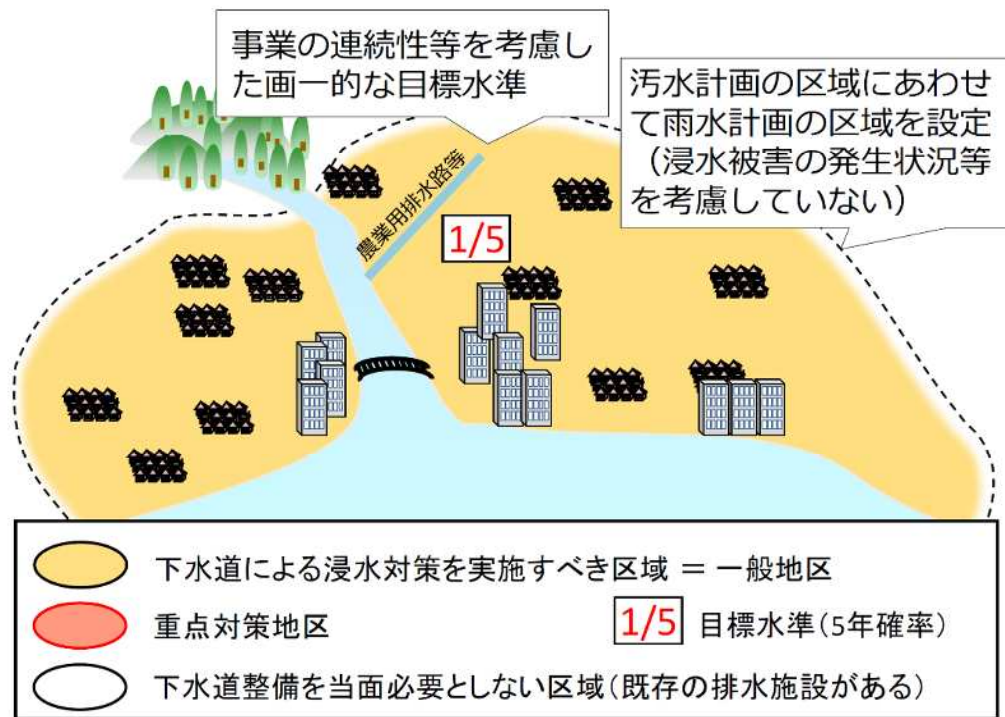
永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

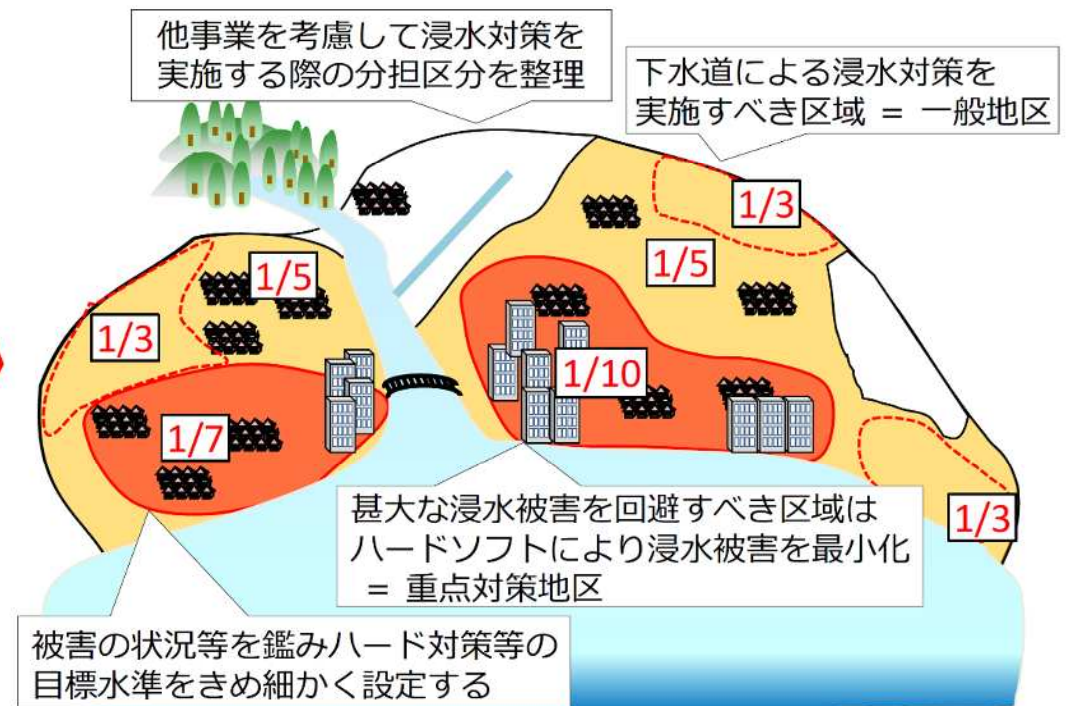
雨水管理総合計画の策定と計画に基づく対策【鹿児島市】

○気候変動による降雨量の増加を考慮し、内水等による被害も含め、リスクに応じた新たな整備目標を設定し、短期・中期・中長期の整備方針を定めて対策を実施

◆これまで



◆これから



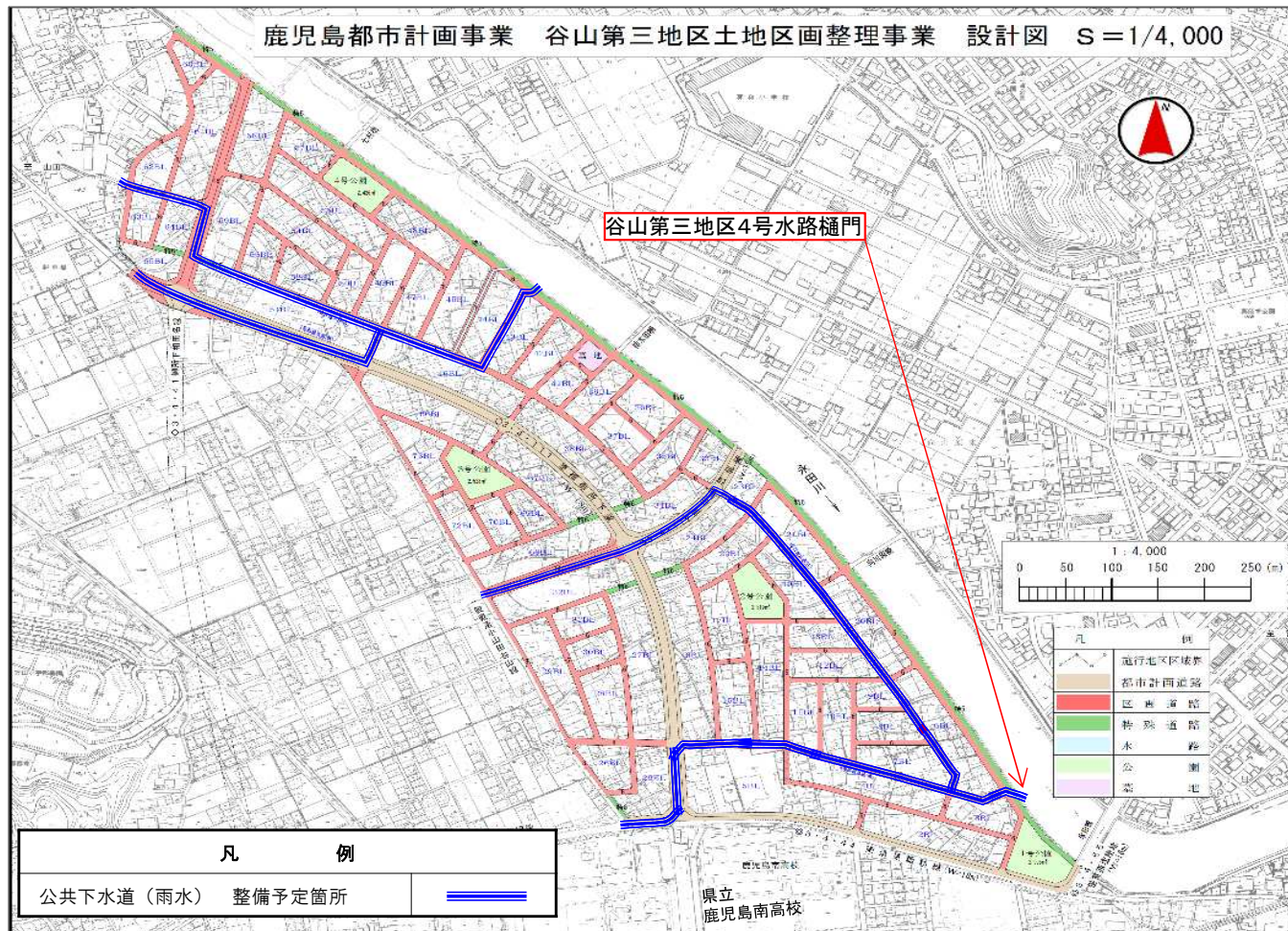
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	公共下水道（雨水）の整備	雨水管理総合計画の策定と計画に基づく対策の実施	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

谷山第三地区土地区画整理事業に伴う公共下水道(雨水)の整備【鹿児島市】

○ 谷山第三地区土地区画整理事業に伴い公共下水道(雨水)、谷山第三地区4号水路樋門の整備を実施



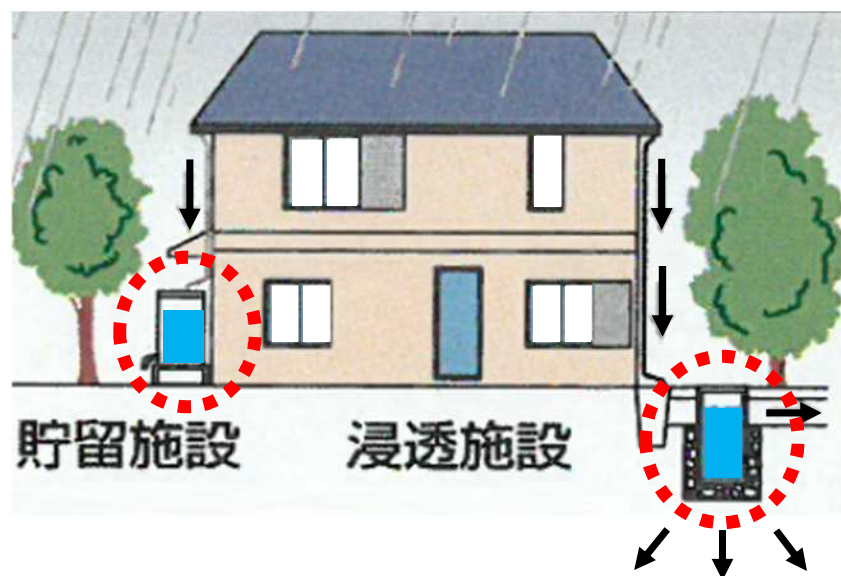
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	公共下水道(雨水)の整備	公共下水道(雨水), 谷山第三地区4号水路樋門の整備	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

個人住宅の雨水貯留施設等設置への助成【鹿児島市】

○雨水の流出抑制を推進し、都市型水害の軽減を図るとともに、雨水利用の促進及び地下水のかん養に寄与するため、個人住宅に雨水貯留施設又は雨水浸透施設を設置する市民に助成を実施



【対象者】

- ・鹿児島市内に住所を有し、市域内の自ら居住する個人住宅に施設を設置する者

【設置基準】

- ・雨水貯留施設は、容量が65リットル以上であること
- ・雨水浸透施設は、設置場所ががけ崩れの危険性がある地域外であること など

【助成額】

- ・設置に要する費用として市長が認めた額の2分の1
- ・限度額
雨水貯留施設：1施設につき38,000円
雨水浸透施設：1施設につき22,000円

【維持管理】

- ・設置後10年間は施設の維持及び保全に努めること
- ・雨水貯留施設は、降雨前には空にし、機能確保に努めること

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水貯留施設等への助成	個人住宅の雨水貯留施設等設置への助成	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

- ・土砂災害警戒区域等の指定を進め、認知度向上を図る。
- ・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上

土砂災害警戒区域等の指定（県内）

土砂災害警戒区域：約23,000箇所
土砂災害特別警戒区域：約19,000箇所
（令和3年3月末時点）

土砂災害防災訓練



土砂災害に関する 出前講座



土砂災害警戒区域，雨量，土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ



鹿児島県河川砂防情報システム



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

かごしまコンパクトなまちづくりプラン（立地適正化計画）【鹿児島市】

○改正都市再生特別措置法に基づき、H29.3月に「かごしまコンパクトなまちづくりプラン」（立地適正化計画）を策定

○関係法令の改正等を踏まえ、プランの見直しを検討予定

かごしまコンパクトなまちづくりプラン 〈立地適正化計画〉



本市では、人口減少と少子高齢化が進むなか、誰もが安心、快適に生活できるまちを実現するため、「住まい」や「日常生活に必要な施設（商業施設、医療施設、金融施設、公共施設等）」がまとまって立地し、バスなどの公共交通によりこれらの施設に行くことができるコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考えでまちづくりを進めることを目的とした『かごしまコンパクトなまちづくりプラン（立地適正化計画）』を策定しました。

立地適正化計画について

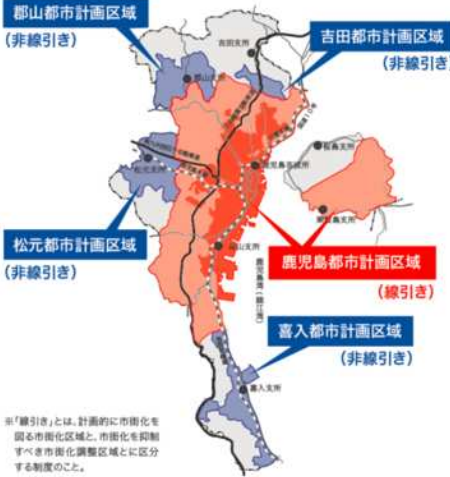
- 平成26年に都市再生特別措置法が改正され、コンパクトなまちづくりを進めていくための「立地適正化計画」を、市町村が策定できるようになりました。
- 立地適正化計画には、居住を誘導する区域や、日常生活に必要な施設を誘導する区域などを定めます。
- 本市の立地適正化計画は「かごしまコンパクトなまちづくりプラン」という名称で進めています。

鹿児島市 平成29年3月

4 かごしまコンパクトなまちづくりプランの概要

プランの対象区域は？

本市には鹿児島、吉田、松元、郡山、喜入都市計画区域の5つの都市計画区域がありますが、これらの全てを対象区域とします。（都市計画区域外はプランの対象区域になりません）



※「線引き」とは、計画的に市街化を促す市街化区域と、市街化を抑制すべき市街化調整区域とに区分する制度のこと。

プランに定めた内容は？

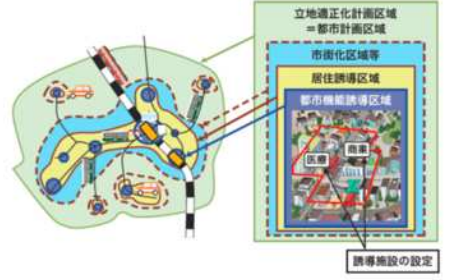
本市の現状や将来人口の推計に基づくまちづくりの基本的方針

- 一定の人口密度を維持し、日常生活に必要な施設や地域コミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導する居住誘導区域
- 日常生活に必要な商業、医療、金融施設を誘導する都市機能誘導区域

プランの目標年次と目標値（人口密度）

居住や都市機能を誘導するための施策（誘導施策）

都市機能誘導区域に誘導すべき施設（誘導施設）



※策定以降は、概ね5年ごとに調査、分析及び評価を行い、必要に応じて見直しを検討

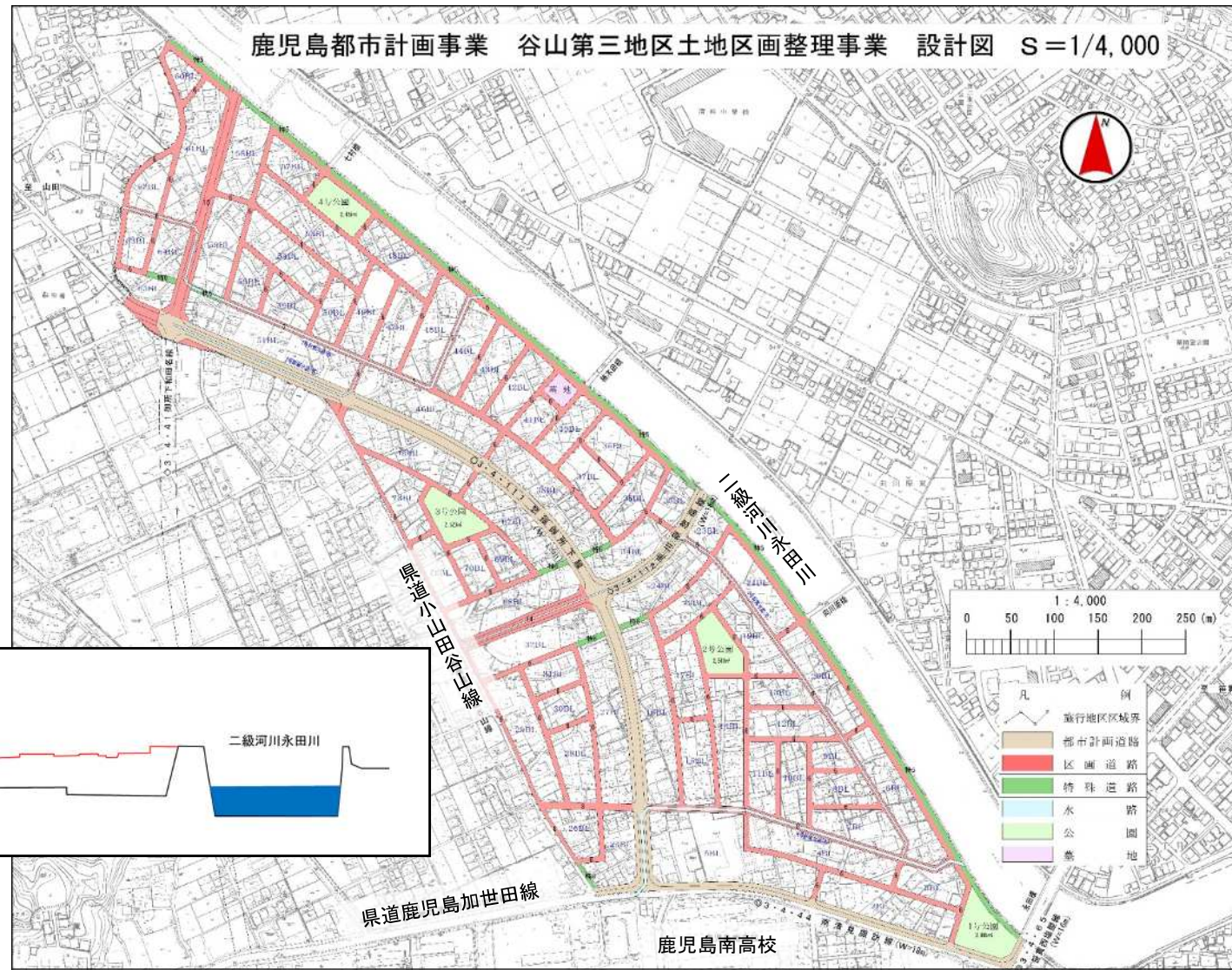
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害対象を減少させるための対策	居住誘導区域の見直し	立地適正化計画の見直しを検討	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

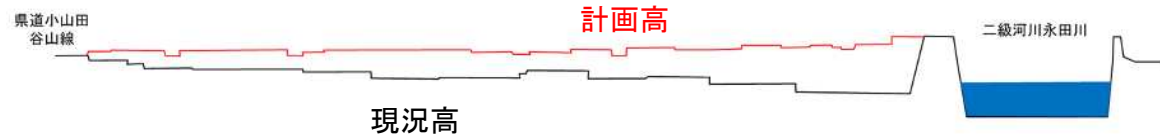
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

土地区画整理事業（谷山第三地区土地区画整理事業）の実施【鹿児島市】

○土地区画整理事業の宅地整地に伴い
宅地の嵩上げを実施



宅地嵩上げイメージ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地区画整理事業の実施	土地区画整理事業に伴う宅地嵩上げ	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

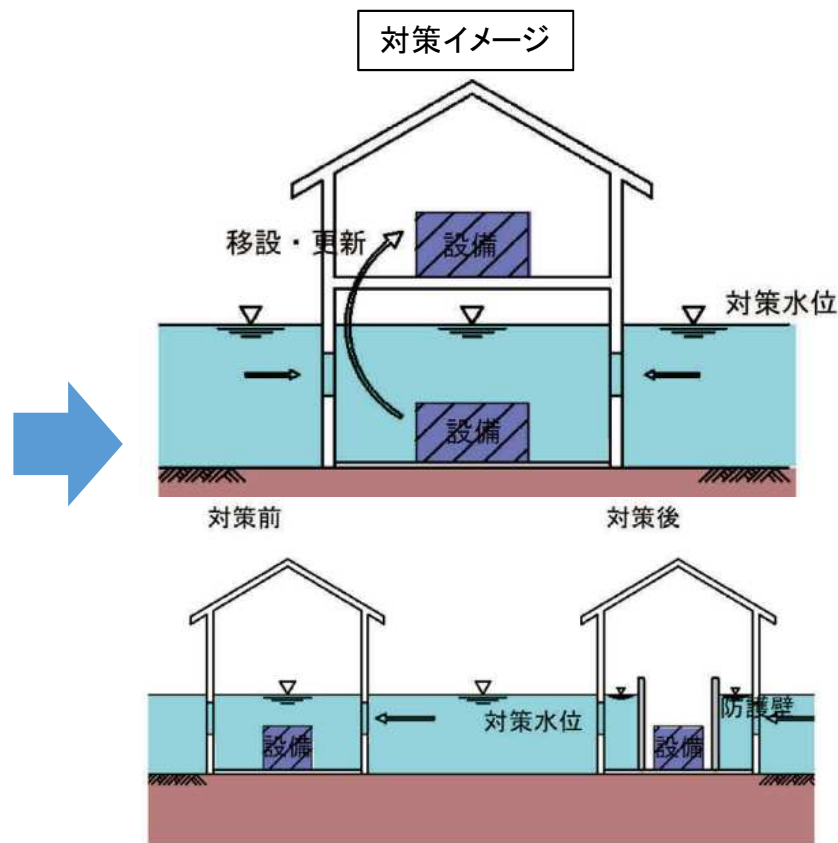
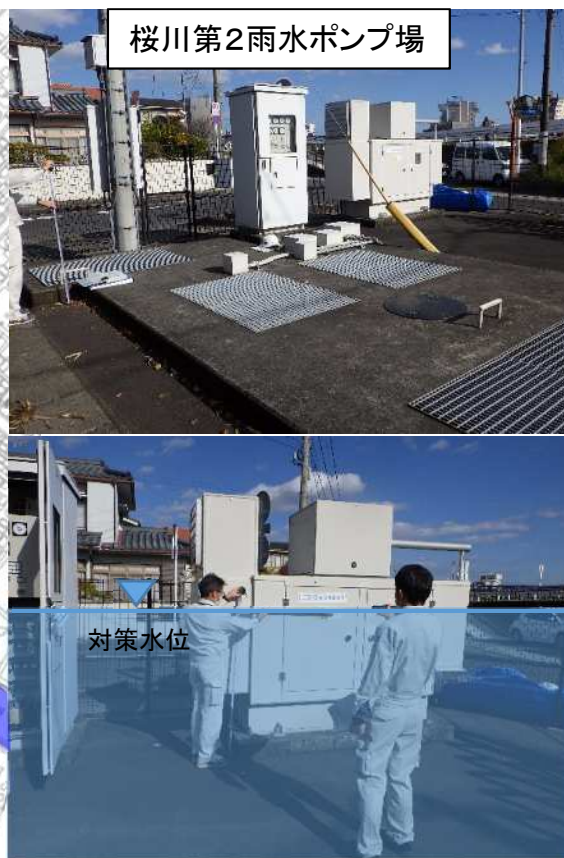
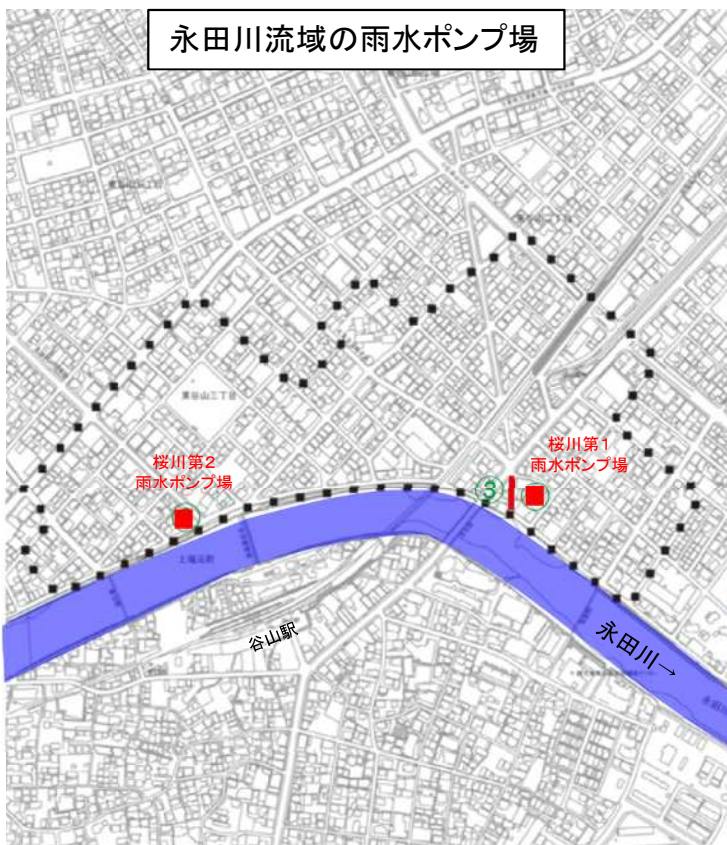
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

雨水ポンプ場の耐水化計画策定・実施【鹿児島市】

○雨水ポンプ場の耐水化計画の策定

○雨水ポンプ場の耐水化工事の実施

近年、全国各地で豪雨等による水害が頻発し、甚大な被害が発生している。令和元年の東日本台風では、河川からの氾濫や内水氾濫により下水道施設が浸水し、市民生活に多大な影響を与えた。これらを踏まえ、令和3年度までに被災時のリスクの高い下水道施設について対策浸水深や対策箇所の優先順位等を明らかにした計画を策定し、5年程度で受変電設備やポンプ設備等の耐水化を完了する。



(出典: 下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	雨水ポンプ場の耐水化	雨水ポンプ場の耐水化計画策定・実施	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

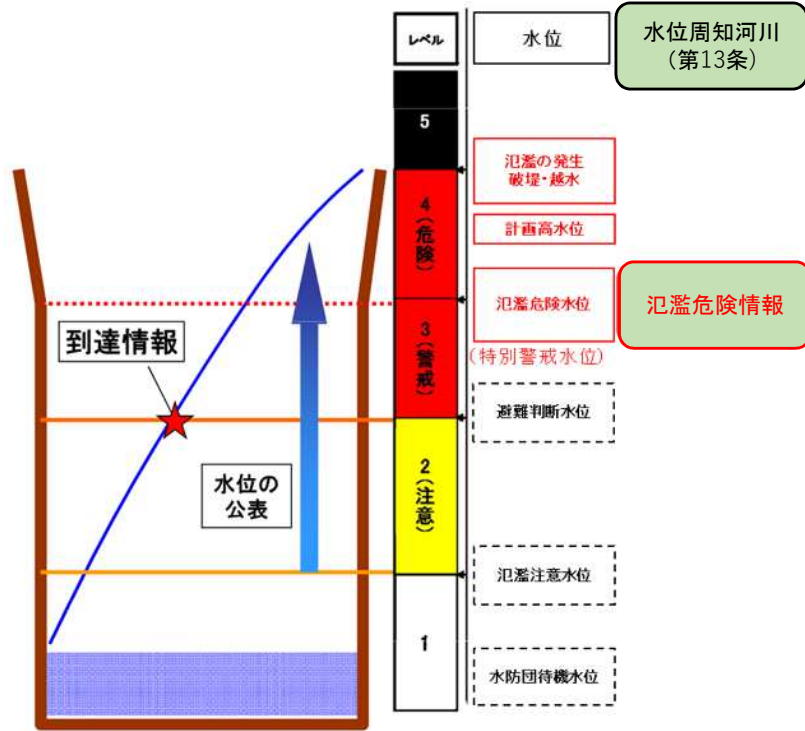
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位周知の実施【鹿児島県】

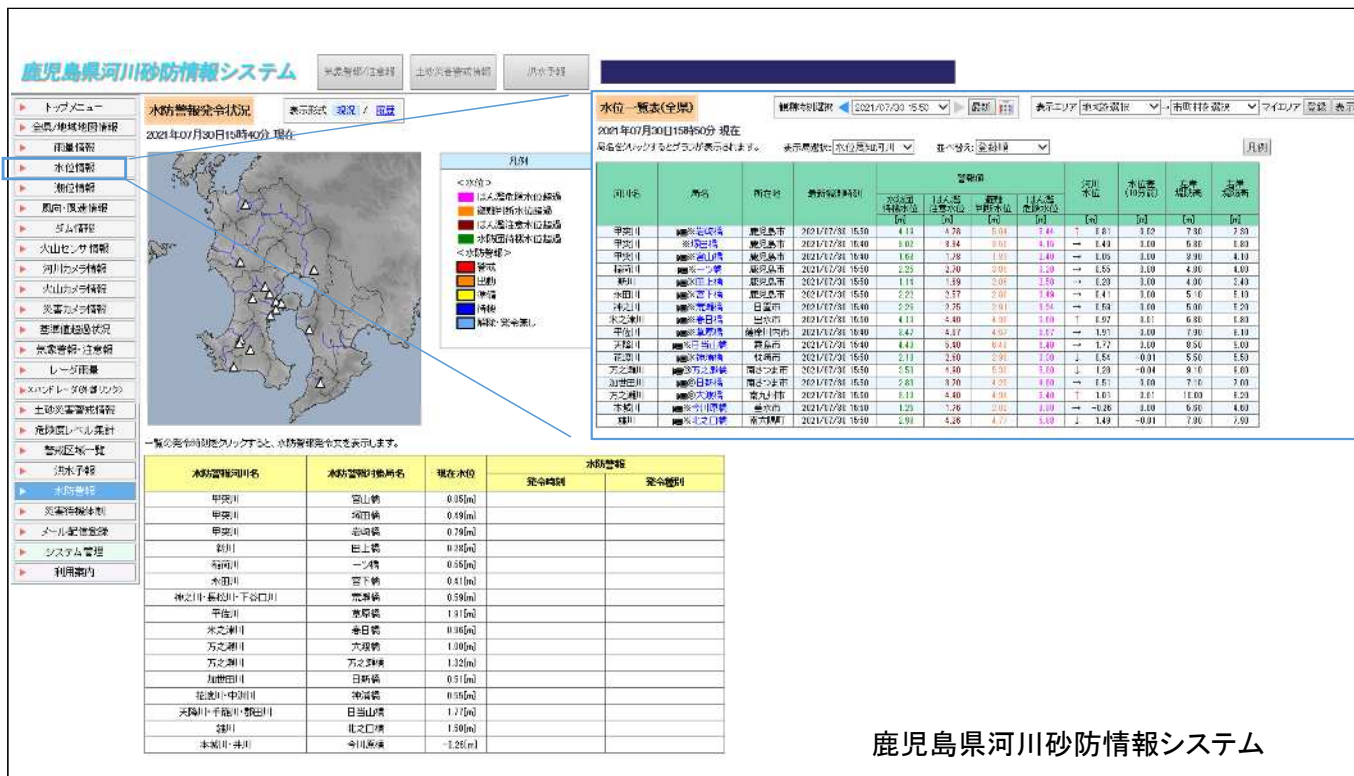
- 洪水により相当な損害を生じるおそれがある河川として、永田川水系永田川を水位周知河川に指定している。
- 河川の水位が、豪雨等により増水してはん濫危険水位に達したときは、当該河川の水位又は流量を水防管理者に通知する。
- 気象情報と同様に報道機関にも通知されるほか、鹿児島県河川砂防情報システムでも公表し、住民の避難行動に資する。



水位情報に基づく氾濫危険度レベル

河川名	基準地点	水防待機水位 (m)	氾濫注意水位 (m) レベル2 水位	避難判断水位 (m) レベル3 水位	氾濫危険水位 (m) レベル4 水位
永田川	宮下橋	2.22	2.57	2.80	3.49

基準水位



鹿児島県河川砂防情報システム

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程	
				短期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	防災情報, 避難体制の検討・連携強化	水位周知の実施	鹿児島県		

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供【鹿児島県、気象庁】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。
下図のように永田川流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

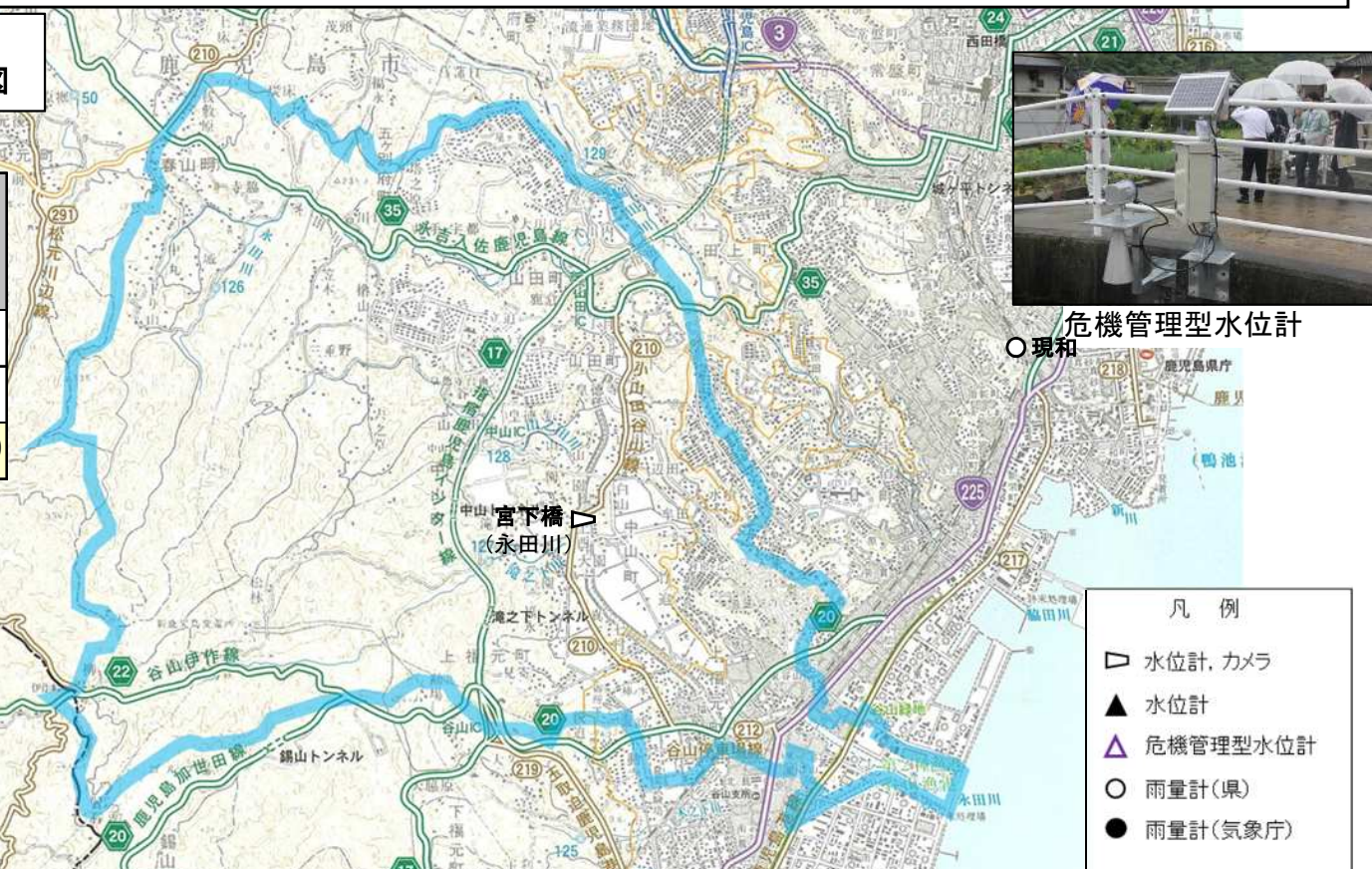
永田川流域における 水位計・監視カメラ・雨量計の位置図

永田川水系内に設置されている各施設数（R3.3末時点）

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	1	-	1	-
気象庁	-	-	-	-
合計	1	0	1	0



簡易型河川監視カメラ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供	鹿児島県、気象庁			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について、地図情報上に集約化し、「鹿児島県水害リスクマップ」として県ホームページに公表（R3.2月末より運用）



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県			

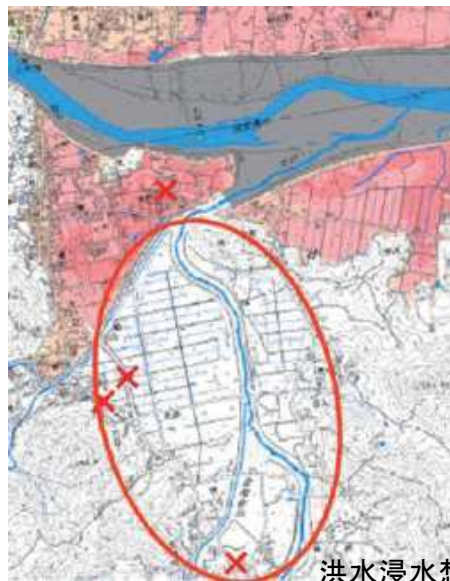
永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水浸水想定区域図の作成・公表 【鹿児島県】

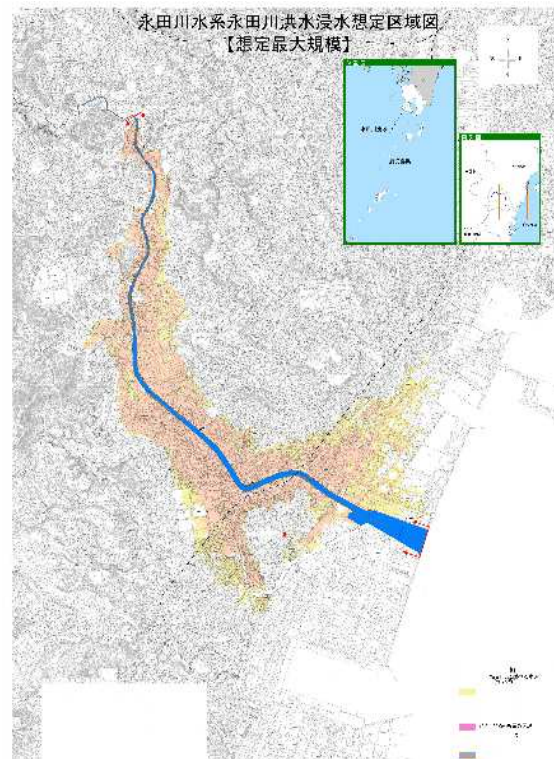
- ・ 現在の水防法では、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており、設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
- ・ 令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- ・ 新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア（水害リスク情報空白域）

浸水想定区域図（川内河川国道事務所）
赤×印は被害発生位置



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減，早期復旧・復興のための対策	防災情報，避難体制の検討・連携強化	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援【鹿児島県】

『マイ・タイムライン』を

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの
いつから行動するか、書いてみよう！

市・区・町・村

地

そなえ
までの
おおよその
時間

5～3日前

行政から発信される情報
黒：気象・水象情報
青：河川管理者

- 台風予報
- 台風に関する都道府県の気象情報(随時)

「台風が発生」してから
「川の水が氾濫」するまで

台風が発生

天気予報で台風ができたって
言ってるよ。
まだ雨や風は強くないね。

台風情報です！

今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい
住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県】

地域の防災 リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



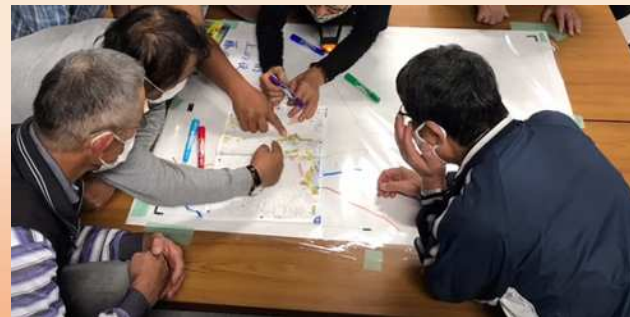
講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による 地区防災計画作成

D I G（災害図上訓練）の様子



防災研修センター による出前講座

非常持出品について考えよう！！



その他の取組

- ・ MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・ 防災・お天気フェア
- ・ 防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災研修、出前講座等	鹿児島県			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応（教材は気象庁HPで公開）
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分



みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災研修、出前講座等	気象庁			

永田川水系流域治水プロジェクト

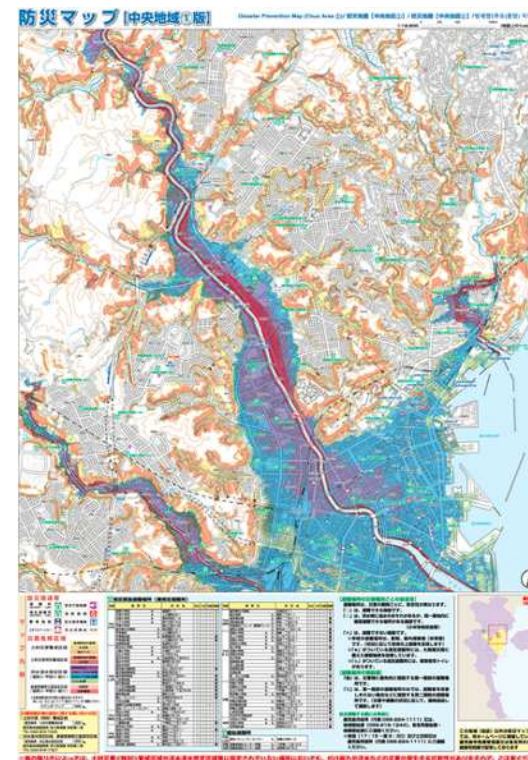
～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災ガイドマップ作成・配布・周知【鹿児島市】

- 災害時における市民の適切な避難行動につなげるため、出水期に備え、新たに土砂災害特別警戒区域や想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、避難行動のポイントなどを掲載した防災ガイドマップ（A1版）を作成し、市内の全世帯へ配布（R3年6月）
- あわせて、同ガイドマップを分かりやすく解説した動画を作成し、市のホームページで配信するほか、DVDの無料貸出を実施



情報面（表面）

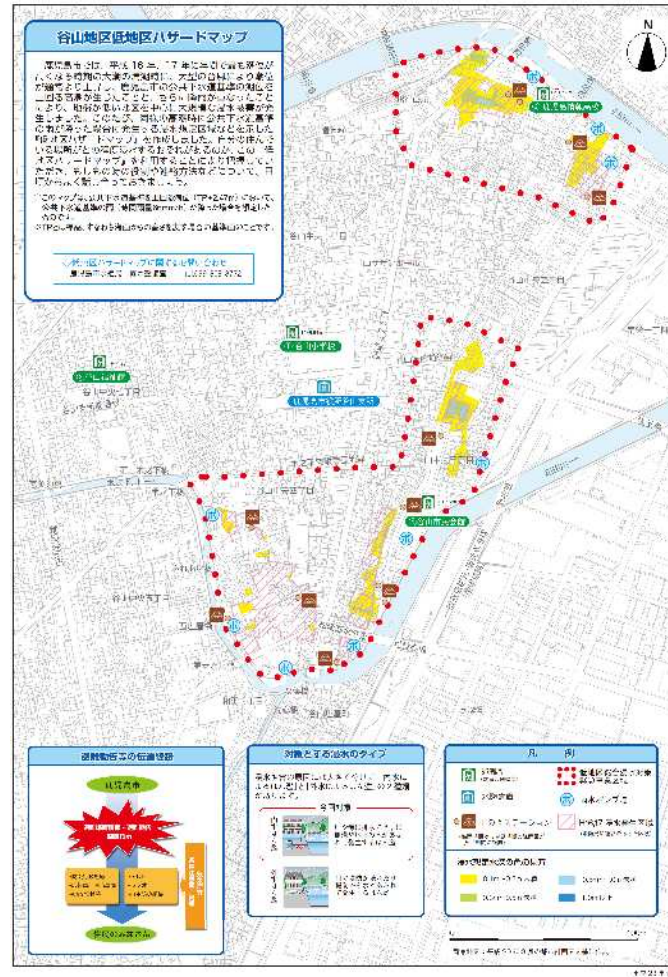


防災マップ（裏面）

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	防災ガイドマップの作成・配布・周知	鹿児島市			

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○低地区ハザードマップを活用し、低地区における浸水リスクや対策を周知



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	低地区ハザードマップの周知	鹿児島市			

永田川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

雨水出水浸水想定区域図の作成【鹿児島市】

○流域治水関連法の改正に伴い、想定最大規模降雨に対する雨水出水浸水想定区域図を作成し、適切な雨水出水浸水リスクを提供

雨水出水浸水想定区域の指定対象の拡大（施行済）

水防法第14条の2

- 現行、地下街を有する地区での適用を想定した水位周知下水道について、「想定し得る最大規模の降雨」に対応した雨水出水浸水想定区域の指定対象とし、避難経路確保やハザードマップ作成等の避難警戒措置を講じているが、近年、地下街以外でも浸水被害が頻発している。
- そのため、浸水対策を目的として整備された下水道については、そのすべてにおいて、雨水出水浸水想定区域の指定対象とする等、適切な雨水出水浸水リスクの提供が必要。



【雨水出水浸水想定区域の指定対象を拡大】

原則、下水道による浸水対策を実施する全ての団体において、想定最大規模降雨に対する雨水出水浸水想定区域を指定することとする。

※氾濫範囲に防護対象が含まれないことが明らかな区間は対象外



（出典：流域治水関連法の改正（下水道関係）説明会（6ヵ月以内施行分）資料）

雨水出水浸水想定区域図の作成

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減，早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	雨水出水浸水想定区域図の作成	鹿児島市			